

# TimeTracker FX

## TimeTracker V1 ユーザ向けガイド

2006年11月

(株)デンソークリエイト



## 目次

---

<b>1</b>	<b>はじめに.....</b>	<b>1</b>
1.1	TimeTracker FX の各エディション .....	1
1.2	表記規則 .....	2
<b>2</b>	<b>システム管理者向けの移行支援ガイド .....</b>	<b>3</b>
2.1	Administrator の変更点 .....	3
<b>3</b>	<b>一般ユーザ向けの移行支援ガイド .....</b>	<b>5</b>
3.1	全体の変更点 .....	5
3.2	TimeSheet (タイムシート)の変更点.....	6
3.3	Planner (プランナー)の変更点.....	6
3.4	Analyst (アナリスト)の変更点 .....	11

(最終ページ :12)

# 1 はじめに

本書では、TimeTracker V1.x（製品版・評価版）をご利用いただいている方が、TimeTracker FX を利用する際の注意事項について、記述しています。TimeTracker V1.x の機能のうち、TimeTracker FX で変更・削除されたもの・操作方法が大きく変更されたものについて、その概略を説明します。（TimeTracker FX のすべての機能を説明する文書ではありません。）



## 注意

TimeTracker V1.x（製品版・評価版）を利用されたことがない場合は、本書をお読みいただく必要はございません。

以降、特に断りのない限り、比較対象の TimeTracker V1.x のバージョンを V1.6 とします。

## 1.1 TimeTracker FX の各エディション

TimeTracker FX の製品ラインナップは、次の2種類のエディションから構成されます。

### ▲ Standard Edition（メジャー改訂版）

使いやすさはそのままに、コストなど業務の分析・可視化性を強化、工数実績を元に業務を可視化するための基本ツールです。

- 使いやすさ向上
- コスト管理
- 分析・可視化の強化

### ▲ Professional Edition（新規追加ラインナップ）

大まかな計画でも細かく管理できる。問題プロジェクトをいつでもモニタリングできる、現場にマッチした本格的プロジェクト管理ツールです。

- Standard Edition での改良項目
- プロジェクト管理機能の強化
- 複数プロジェクトの状況可視化
- リソース負荷管理

Standard Edition は、Professional Edition が提供する機能のうち一部が、利用不可あるいは利用制限を設けられています。（Professional Edition には、制約はありません。）

## 1.2 表記規則

---

### (1) 「注意」と「ヒント」のアイコン

お読みいただく上で、特に目を通していただきたい事項には、次のアイコンが添えてあります。

- 「注意」 

… お使いの際に支障を生じかねない・つまづきかねないポイントについて、説明します。

- 「ヒント」 

… お使いの際に役立つ・操作がより簡単になるポイントについて、説明します。

### (2) Standard Edition における制約（「利用制限」と「利用不可」）

「1.1 TimeTracker FX の各エディション」にて触れた、Standard Edition での利用制限・利用不可とされている項目には、それぞれ以下のマークが添えてあります。

- 「Standard 利用制限」



- 「Standard 利用不可」




制約の詳細につきましては、各項目を参照下さい。

## 2 システム管理者向けの移行支援ガイド

### 2.1 Administrator の変更点

#### (1) 権限体系の変更

TimeTracker FX では、機能追加・変更に伴い、権限体系が見直されています。以下に、カテゴリごとに分類して、権限を列挙します。詳細については Administrator のヘルプを参照下さい。

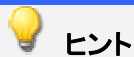
カテゴリ	権限	(既存) / 新規	説明	備考
プロジェクト	計画閲覧	(既存)	プロジェクトの閲覧の可否	
	計画作成・編集	(既存)	プロジェクトの新規作成・編集の可否	
実績	実績閲覧	新規	他アカウント詳細実績(タイムシート)の閲覧の可否	
	実績編集	新規	他アカウント詳細実績(タイムシート)の編集の可否	
コスト	コスト	新規	プロジェクトのコスト関連データの閲覧・編集の可否	
	コスト単価	新規	プロジェクトのメンバ毎コスト単価の閲覧・編集の可否	
分析・モニタリング	実績エクスポート	新規	プロジェクトの実績データのエクスポートの可否	ユーザ自身の実績データはエクスポート可能
	分析	(既存)	アナリスト機能の利用の可否	
	ピボット分析 	新規	ピボット分析機能の利用の可否	Standard Edition では対象外
	ダッシュボード	新規	ダッシュボードのウィジェット機能の利用の可否	
管理	DB 管理	(既存)	管理アプリケーション Administrator の利用の可否	

#### 注意

TimeTracker FX に移行する際は、特に**[実績エクスポート]**権限に留意してください。

従来は、Planner・Analyst を起動できる(=[計画閲覧]・[計画作成・編集]・[分析]各権限のいずれかを持つ)場合に、そこから操作してプロジェクトの実績データをエクスポートできました。TimeTracker FX ではそれらの権限から切り離して、独立した**[実績エクスポート]**権限を新たに追加しました。

なお、移行した TimeTracker FX にて、ユーザに従来通り**[実績エクスポート]**機能を利用させるためには、Administrator の[役割の定義]ビューにて、**[計画閲覧]・[計画作成・編集]・[分析]**各権限のいずれかを持つ役割に**[実績エクスポート]**権限を設定して下さい。



### ヒント

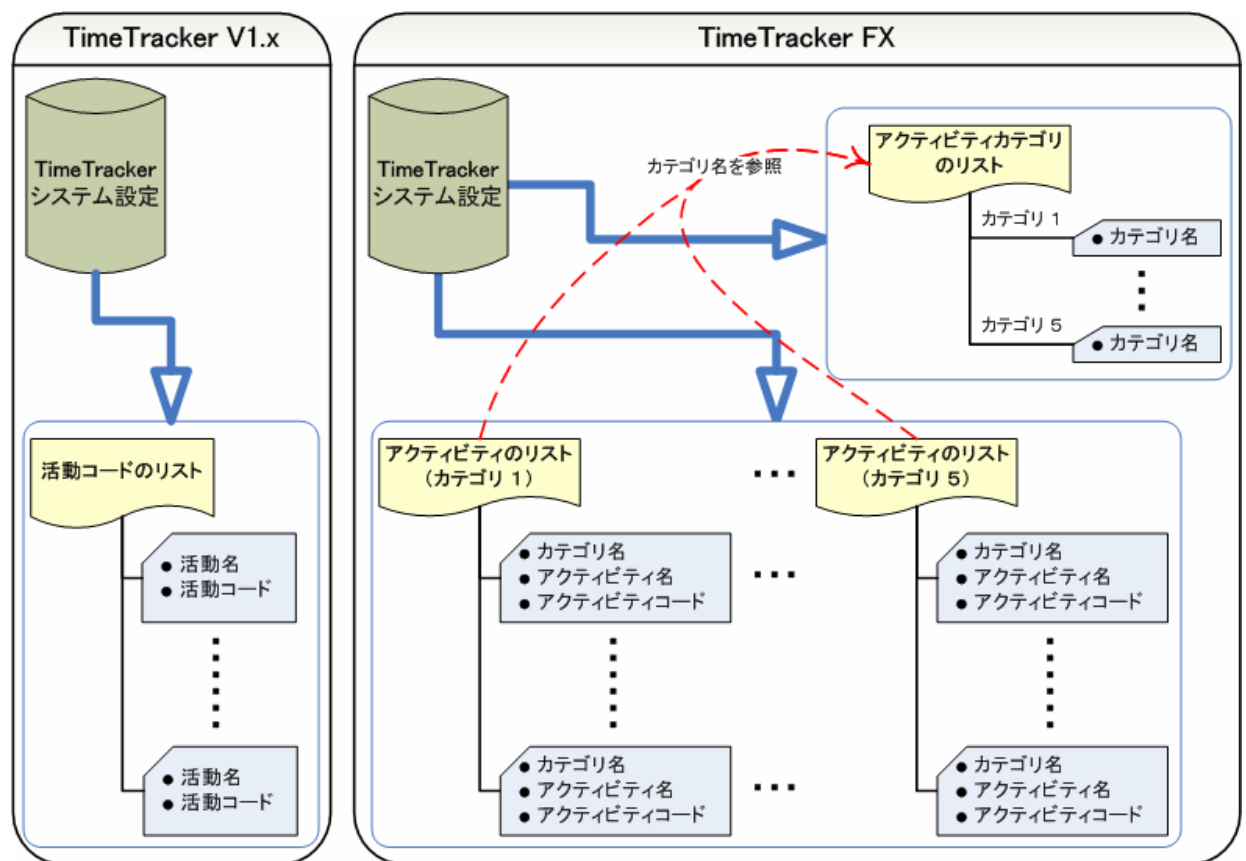
ユーザ自身の実績データのエクスポートは、いずれの権限設定にも限らず、常に可能です。

## (2) 「活動名」・「活動コード」の呼称の変更と拡張

従来、タスクの種別を表現する要素に「活動名」・「活動コード」がありました。TimeTracker FX では、呼称が「アクティビティ名」・「アクティビティコード」と改められています。また、従来の「活動名」・「活動コード」の区分は1つでしたが、TimeTracker FX では「アクティビティ名」・「アクティビティコード」の区分（「アクティビティカテゴリ」と呼称）が5つに拡張されました。

なお、アクティビティの役割に変わりはありません。また、実際に運用されている TimeTracker V1.x のDBを TimeTracker FX の環境へ移行（アップグレード）いただく場合は、従来の「活動名」・「活動コード」はそれぞれ、カテゴリ1のアクティビティにマッピングされます。

従来の「活動名」・「活動コード」と、TimeTracker FX のアクティビティの関係・相違点を、下図に示します。



### 凡例

• (データ名) 管理者が Administrator 上で、値を追加・編集するデータ

## 3 一般ユーザ向けの移行支援ガイド

### 3.1 全体の変更点

#### (1) クライアントアプリケーションの統合

従来の TimeSheet ・ Planner ・ Analyst の各アプリケーションが、TimeTracker FX では1つのアプリケーションに統合されています。これにより、ログイン操作は、統合されたアプリケーション起動時の1回で済ませられます。

#### (2) クライアントアプリケーションの多重起動の制約

従来、TimeSheet ・ Planner ・ Analyst の各アプリケーションは同じ実行環境にて複数起動できましたが、TimeTracker FX では統合されたアプリケーションは1つしか起動できないよう制約されています。

#### (3) 「活動名」・「活動コード」の呼称の変更と拡張

従来、タスクの種別を表現する要素に「活動名」・「活動コード」がありました。TimeTracker FX では、呼称が「アクティビティ名」・「アクティビティコード」と改められています。また、従来の「活動名」・「活動コード」の区分は1つでしたが、TimeTracker FX では「アクティビティ名」・「アクティビティコード」の区分（「アクティビティカテゴリ」と呼称）が5つに拡張されました。

なお、アクティビティの役割に変わりはありません。また、実際に運用されている TimeTracker V1.x のDBを TimeTracker FX の環境へ移行（アップグレード）いただく場合は、従来の「活動名」・「活動コード」はそれぞれ、カテゴリ1のアクティビティにマッピングされます。

#### (4) 実績エクスポート機能のエクスポート可能範囲の変更

従来の実績エクスポート機能は、アプリケーションに応じてエクスポート可能なデータが決まっていました。TimeSheet ではユーザ自身の実績データを、Planner ・ Analyst ではプロジェクトの実績データを、それぞれエクスポートできました。

TimeTracker FX では、『プロジェクトの実績データのエクスポート可否』新規権限に従うよう、見直されています。



#### ヒント

ユーザ自身の実績データは、この権限設定によらず、必ずエクスポートできます。

### (5) 実績エクスポート機能のエクスポート結果のフォーマット変更

TimeTracker FX では、実績エクスポート機能で出力したファイル(Excel 形式・CSV 形式とも)のフォーマットが、従来のものから変更されています。(列が追加されています。)

### (6) オートメーション API の変更

従来提供していたオートメーション API は、TimeTracker FX では一部変更されています。

### (7) カスタマイズ I/F 機能の廃止

従来の TimeSheet ・ Planner に搭載されていたカスタマイズ I/F 機能(拡張ポイント・拡張ツールバー)が、TimeTracker FX では無くなっています。

## 3.2 TimeSheet (タイムシート)の変更点

---

### (1) 同一アカウントに関する多重起動の制約

従来、TimeSheet は同じ実行環境にて同一アカウントで複数起動できましたが、TimeTracker FX では(編集・閲覧を問わず)同一アカウントのタイムシートは1つしか開けません。

### (2) タスクツリーの統合

従来、実績入力ビューにあった[今日のタスク]ツリー・[割り当てられたタスク]ツリーが、TimeTracker FX では1つの[タスクツリー]に統合されています。

代わりに、[タスクツリー]の[フィルタ]機能にて「今日のタスク」・「割り当てられたタスク」を設定することで、従来と同等のタスクツリーを表示できます。

### (3) オフラインファイルのフォーマット変更 (互換性無し)

オフライン機能を用いる際にエクスポート・インポートする「オフラインファイル」のフォーマットが、従来のものから変更されています。

双方で互換性はありませんので、TimeTracker FX へ移行される際は、オフライン機能を利用する関係者へのご案内をお忘れ無いう、ご注意ください。

## 3.3 Planner (プランナー)の変更点

---

### (1) 同一プロジェクトに関する多重起動の制約

従来、Planner は同じ実行環境にて複数起動し、それぞれで同一プロジェクトを開けましたが、TimeTracker FX では(編集・閲覧・バージョン指定を問わず)同一プロジェクトのプロジェクトは1つしか開けません。



## (2) [進捗レポート] 機能の廃止

従来の、[プラグイン]－[進捗レポート]機能が、TimeTracker FX では無くなっています。

代わりに、[進捗レポート]機能で表示していたアーンドバリュー管理手法における各種値を、TimeTracker FX では[ガントテーブル]上の列として、表示できます。

## (3) [プロジェクトのエクスポート] 機能の廃止

従来の[プロジェクトのエクスポート]機能が、TimeTracker FX では無くなっています。

[プロジェクトのエクスポート]機能が担っていた役割・用途は、TimeTracker FX では以下に示す新機能により、代わりに実現できます。新機能の詳細につきましては、ヘルプを参照下さい。

- ガントチャートのイメージを Excel 形式に変換、印刷する → ガントチャートの印刷&プレビュー機能
- 顧客・協力会社へプロジェクト計画を資料として配付する → プロジェクト計画のオフライン機能

## (4) アーンドバリュー管理手法の用語の変更

従来、アーンドバリュー管理手法の価値基準として「工数」を採用していました。TimeTracker FX では、「コスト」概念の導入に伴い、価値基準に「コスト」も加えています。

これにより、幾つかの値の名称が変更されています。例えば「工数指標」(工数ベースの指標)は、従来は「CPI」と表していましたが、TimeTracker FX では「TPI」と表現が変更されています。一方で「コスト指標」(コストベースの指標)が TimeTracker FX で新たにサポートされますが、こちらは「CPI」と表します。下表にまとめてありますので、ご確認の上ご注意ください。

TimeTracker V1.x での用語	TimeTracker FX での用語	用語の意味
EV (Earned Value)	ETV (Earned Time Value)	獲得工数
—	EV (Earned Value)	獲得コスト
CPI (Cost Performance Index)	TPI (Time Performance Index)	工数指標
—	CPI (Cost Performance Index)	コスト指標
CV (Cost Variance)	TV (Time Variance)	遅れ工数
—	CV (Cost Variance)	遅れコスト
CVAC (Cost Variance At Completion)	TVAC (Time Variance At Completion)	最終予測遅れ工数
—	CVAC (Cost Variance At Completion)	最終予測遅れコスト

## (5) [デフォルトの進捗率計算方法] の設定 UI の変更 (Professional Edition のみ)

従来、プロジェクトの設定情報のうち[デフォルトの進捗率計算方法]の設定 UI は、[プロジェクトの設定]ダイアログの[一般]ページ上に、ドロップダウンリストとして設けられていました。TimeTracker FX Professional Edition では、同ダイアログの[フィールド定義]ページ上の[フィールド定義]グリッド中で設定するよう、変更されました。従来と TimeTracker FX Professional Edition の該当 UI を、下図に示します。詳細につきましては、ヘルプを参照下さい。

なお設定操作は、従来通りドロップダウンリストからの選択で、変わりありません。

### 【 TimeTracker V1.x 】

プロジェクトの設定

一般 | メンバ | バージョン

プロジェクト名(N) S機器の開発 - プロジェクト管理の例

コード(D) PRJ-002

マネージャ(M) 岡本 直哉

開始日(S) 2006年 4月 1日  プロジェクトの終了(X)

終了日(E) 2006年 9月30日

デフォルトの進捗率計算方法 **0/50/100法**

現在のバージョン 3

作成者 京野 一郎

作成日時 2006/06/01 22:25

### 【 TimeTracker FX Professional Edition 】

プロジェクトの設定

一般 | カテゴリ | メンバ | バージョン | **フィールド定義** | カスタムフィールド定義

フィールド定義(D)

表示文字列	フィールド名	データ型
計画工数	PlannedTime	整数
進捗率	Progress	実数
ノード	デフォルトの決定方	デフォルトの計算
タスクパッケージ	進捗率(加重平均)	
タスク	進捗率(0/50/100)	
マイルストーン	ユーザー入力値	
表示文字列	フィールド名	データ型
計画成果量	OutputScalePlan	整数



#### ヒント

TimeTracker FX Standard Edition では、該当 UI は従来と変わりありません。

#### (6) 計画ビュー上でのタスクパッケージへの WBS ノード挿入位置の変更

従来、タスクパッケージを指定して新規ノードを挿入する際や、[テンプレート]から WBS ノードをタスクパッケージへドラッグ & ドロップする際に、挿入されたノードは対象タスクパッケージ内で一番下の位置に加えられていました。TimeTracker FX では、同様の操作をする際に、対象タスク

パッケージ内で一番上の位置に加えられるように、変更されています。

### (7) 計画ビュー上での WBS ノードの移動操作の変更

従来の WBS ノードの移動操作は、左ボタンを押しながらのドラッグ & ドロップで行っていました。

**TimeTracker FX** では、**右ボタン**を押しながらのドラッグ & ドロップに、変更されています。

なお、WBS ノードの選択操作は、従来通り左ボタンのクリックで、変わりありません。

### (8) テンプレートからのノードのコピーにおけるコピー対象属性の変更

従来、[テンプレート]で再利用元プロジェクトから WBS ノードをドラッグ & ドロップする際に、ノードの属性の値も共にコピーされていました。**TimeTracker FX** では、ドラッグ & ドロップによりコピーされるノードの属性が、以下のように変更されています。

ノード種別	TimeTracker V1.x	TimeTracker FX
タスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 名称</li> <li>• コード</li> <li>• 活動コード ※</li> <li>• 計画成果量</li> <li>• 規模単位</li> <li>• 成果物情報</li> <li>• ノードの説明</li> </ul>	左記に加えて次の属性もコピーする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• アクティビティコード (カテゴリ2~5)</li> <li>• 開始日</li> <li>• 終了日</li> <li>• 計画工数</li> <li>• 計画コスト</li> </ul>
タスクパッケージ	(同上)	(同上)
マイルストーン	上記に加えて次の属性もコピーする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 開始日</li> <li>• 終了日</li> </ul>	上記に加えて次の属性もコピーする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• アクティビティコード (カテゴリ1~5)</li> <li>• 計画コスト</li> </ul>

※ 従来のタスクの「活動コード」は、**TimeTracker FX** では「カテゴリ1のアクティビティコード」に相当します。



#### 注意

**TimeTracker FX** にて、ノードの属性がコピーされる前提として、コピー元ノードの属性の[値の決定方法]が、「ユーザ入力値」と設定されている場合に限りです。  
[値の決定方法]の詳細につきましては、別途ヘルプを参照下さい。

### (9) タスクパッケージ配下タスクへの一括リソース割り当て操作の変更

従来は、タスクパッケージに対してリソース割り当てを設定することで、孫ノード以下も含めた配下の全タスクに、設定が反映されていました。**TimeTracker FX** で同等の設定を行うには、次の手順に従って操作してください。

- ① タスクパッケージを選択する。
- ② 右ボタンをクリックして、ポップアップメニューを表示する。
- ③ [ツリー]-[このノード以下を選択]を選択する。  
→ 対象タスクパッケージとその配下の全ノードが、選択された状態になります。
- ④ 以降は、通常と同様の[リソース割り当て]操作を行う。

#### (10) テーブルの [列のカスタマイズ] 機能の変更

従来[計画テーブル]で列の表示／非表示を設定していた[列のカスタマイズ]機能が、TimeTracker FX では[ガントテーブル]の、[テーブルの編集]機能および[テーブルの定義]機能に変更されています。ただし列の表示／非表示の設定操作は、基本的に変わりありません。

#### (11) [計画]・[タスク詳細]・[リソース詳細] 各ビューの分離

従来、[計画]・[タスク詳細]・[リソース詳細]の各ビューは Planner のウィンドウ上で一体になっていました。TimeTracker FX では、[計画]・[タスク詳細]・[リソース詳細]はそれぞれ、統合されたアプリケーション内の個別の子ウィンドウとして、独立して表示されています。

また、[タスク詳細]・[リソース詳細]各ウィンドウは[計画]ウィンドウ上での操作により表示されますが、元となった[計画]ウィンドウを閉じても[タスク詳細]・[リソース詳細]各ウィンドウは自動で閉じられることはありません。

#### (12) [ベースラインの表示] 操作に伴うテーブルの関連列表示の変更

従来、[ベースラインの表示]操作でベースライン表示／非表示を切り替えた際には、[計画テーブル]上でベースライン関連データ([BL 開始日]・[BL 終了日]・[BL 計画工数])の列が、連動して自動的に表示／非表示されていました。TimeTracker FX では、この連動した表示／非表示は行われなくなっています。

ベースライン関連データ([ベースラインの開始日]・[ベースラインの終了日]・[ベースラインの計画工数])の表示／非表示は、ユーザ自身が[ガントテーブル]の[テーブルの編集]機能および[テーブルの定義]機能を用いて、適宜 設定してください。

ただし、[ガントチャート]上のベースライン関連データは、従来通り[ベースラインの表示]操作に連動して自動的に表示／非表示されます。

#### (13) プロジェクトのベースラインを開いた際の実績データの変更

従来、[プロジェクトを開く]ダイアログで[バージョンを指定して開く]を選択して、プロジェクトのベースラインを開いた際に、計画データはベースライン保存時点の値でしたが、実績データは現在の最新の値が表示されていました。TimeTracker FX では、計画データだけでなく実績データも、ベースライン保存時点の値が表示されるようになっています。

#### 注意

プロジェクトを開き、[ベースラインの表示]機能で対比表示する場合は、従来の動作と変わりありません。(これは、表示に反映するのがベースラインの計画データだけのためです。)

#### (14) プロジェクト計画の [エクスポート]・[インポート] 機能の廃止

従来の、CSV 形式ファイルを介したプロジェクト計画の [エクスポート]・[インポート] 機能が、TimeTracker FX では無くなっています。

代わりに TimeTracker FX では、Microsoft Project プロジェクトファイルを直接・簡単にインポートできます。ただし Microsoft Project プロジェクトファイルへのエクスポートはできません。



#### 注意

Microsoft Project からのインポート機能をご利用になるには、TimeTracker FX をお使いの環境に Microsoft Project がインストールされている必要があります。

#### (15) プロジェクトの [公開するバージョン] 設定の廃止

従来、[プロジェクトの設定]ダイアログの[バージョン]ページ上で、[公開するバージョン]として「現在のバージョンを公開」・「最新のベースラインを公開」のいずれかを選択できました。

TimeTracker FX では、[公開するバージョン]の設定はできず、動作上は必ず「現在のバージョンを公開」するようになっています。（「最新のベースラインを公開」は、できなくなっています。）

### 3.4 Analyst (アナリスト)の変更点

#### (1) 多重起動の制約

従来、Analyst は同じ実行環境にて複数起動できましたが、TimeTracker FX ではアナリストは1つしか開けません。

#### (2) 表示内容の元となるデータが、必ずしも最新でない

従来、[プロジェクトサマリ]・[マイルストーンの進捗状況]・[リソースサマリ]の各ビューにて、表示内容の元となるのは起動時点で最新のデータでした。

TimeTracker FX で、アナリストの各ビューの表示内容の元となるのは、サーバ内部で定期的に更新(収集・算出)されるキャッシュデータです。そのため、サーバ内部のキャッシュデータが更新されるまでは、たとえアプリケーション上で[更新]操作をしても、表示内容は更新されません。

具体的に、アナリストの各ビューの表示内容は、下表のようになります。

状況	条件	表示内容
キャッシュデータが無い	1回もキャッシュデータが更新されない およびその状態でサーバタスクが停止された	表示項目が1つもない
キャッシュデータがある	1回でもキャッシュデータが更新された	キャッシュデータに基づく表示

ただし例外的に、[マイルストーンサマリ]ビューにて[公開マイルストーンのみ表示する]チェックボックスがチェックされていない(=全てのマイルストーンを表示する)場合に限り、従来同様、最

新データに基づいて表示内容が作成されます。



### ヒント

サーバ内部でキャッシュデータを更新するのは、複数種類ある「サーバタスク」というプログラムです。キャッシュデータの鮮度(どのくらい最近に更新されたか)は、サーバタスクが更新処理を行う[周期]に依存します。[周期]は、システム定義にて設定します。

※ [周期]の設定の変更に関しては、システム管理者までお問い合わせください。

以下に、各ビューと、その表示内容の元となるデータを扱うサーバタスクの対応を示します。

- ・ [プロジェクトサマリ]ビュー … [プロジェクト情報の更新]
- ・ [マイルストーンサマリ]ビュー
  - 公開マイルストーンのみ表示する … [プロジェクト情報の更新]
  - 全てのマイルストーンを表示する … (関連サーバタスク無し)
- ・ [リソースサマリ]ビュー … [プロジェクト情報の更新]、  
[リソース負荷データの更新]

Copyright(C) 2006 DENSO CREATE INC. All rights reserved.

※Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

※Windows の正式名称は Microsoft Windows Operating System です。

※その他記載された会社名および製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

以上 ■